

5/23金▶25日

第67回

東日本実業団 陸上競技選手権大会

埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

田村選手、
見事6位入賞！

埼玉県熊谷市スポーツ文化公園陸上競技場において東日本実業団選手権大会が3日間の日程で開催されました。

初日の1500mでは田村選手がスタート直後に先頭に立ってレースを先導する積極的な展開を見せ、ラストもしっかりとスパートを効かせて見事6位入賞。自身の大きな目標としている7月の日本選手権大会に向けて良いチャレンジができました。

10000mでは光恒選手が積極的に先頭集団でレースを進めて自己記録を更新するペースで走っていましたが後半に足がつってしまい、悔しい途中棄権となりました。

花野選手は中盤で遅れたものの、立て直して最後までしっかりと動かし、セカンドベストで走り切りました。

新人選手、
自己記録更新！

2日目の3000mでは新人の中川選手がハイペースで進むレース展開にもしっかりと対応し、自己記録を約3秒更新する好走を見せましたが目標としていた入賞には約5秒届かず、本人は今後の更なる成長を誓っていました。



3日目の5000mでは新人の矢内選手がうまくレースの流れに乗って力を出し切るレース内容で、自己記録を約14秒更新する大幅な自己新を達成しました。

鈴木樺連選手は調子が良いとは言えない状態の中でしたが、レースに出場してチャレンジすることを選択しました。

苦しいレース内容でしたがこのチャレンジはきっと成長につながりますので、壁を乗り越えた時の鈴木樺連選手の走りを楽しみにしててください。川澄コーチも5000mに出場しました。

一時は先頭集団から遅れを取りましたが、中盤から追いついて追いつきラストは見事なロングスパートで後続の選手を大きく引き離して組のトップでゴールしました。

レース後には、選手達をしっかりと引っ張っていけるように自分自身の競技力を高めながら、選手達がレベルアップしていけるようコーチとして努めていきますと頼もしいコメントがありました。



田村 紀薫 選手

女子
1500m 2組 6着

総合 6位入賞
(日本人4位)

4分17秒86

たくさんの応援をありがとうございました！
東日本実業団に出場したのは10年ぶりでしたが、応援が大変心強く、シーズンベストと実業団生活で初めての入賞をすることができました。

7月の日本選手権を1番の目標としているので、今回見えた改善点も含めて、ここからの1ヶ月は特に細かくスケジュールを組んでトレーニングを積めるよう取り組んでいきます。

現地、またライブ配信での応援をいただきありがとうございました！！



5/23金 出場



花野 桃子選手

女子 10000m 総合**11位**
(日本人 9位)

33分43秒26



前回のレースからなかなか調子を上げられない中で出場した今回の 10000mでした。最低限の目標は達成できましたが前半から余裕がなく早い段階で離れてしまうなど反省の多いレースとなったので、6月以降のレースに向けて課題を克服できるように練習していきます。現地やライブからたくさんの応援ありがとうございました。



光恒 悠里選手

女子 10000m 怪我のため途中棄権

今回のレースは、途中で脚にアクシデントがあり棄権させていただきました。

自己ベストを狙えるペースで走っていたので悔しさが残る結果となってしまいましたが、このレースに向けての練習や棄権するまでの走りは手応えを感じた部分もあったので、そこは今後の糧にしていきたいです。

また元気に走っている姿をお見せできるように、まずは脚の状態をしっかり整えていきます。

5/24(土) 出場

中川 千愛選手

女子 3000m 2組 12着 総合**12位**
(日本人 10位)

9分20秒34 自己新記録!



今回のレースでは勝負して入賞する事を目標にしていたのですが、ラスト 1 周からのスパートが出来ず目標を達成することができなくて悔しいです。

ラストのスパートができるかどうかで結果が大きく変わってくるので、ラストのスピードを切り替える練習に取り組み、トップレベルの選手達と戦えるようになっていきます。

まずは次回のホクレン大会に照準を合わせて、9分20秒切りは最低限、9分15秒を狙っていきます。

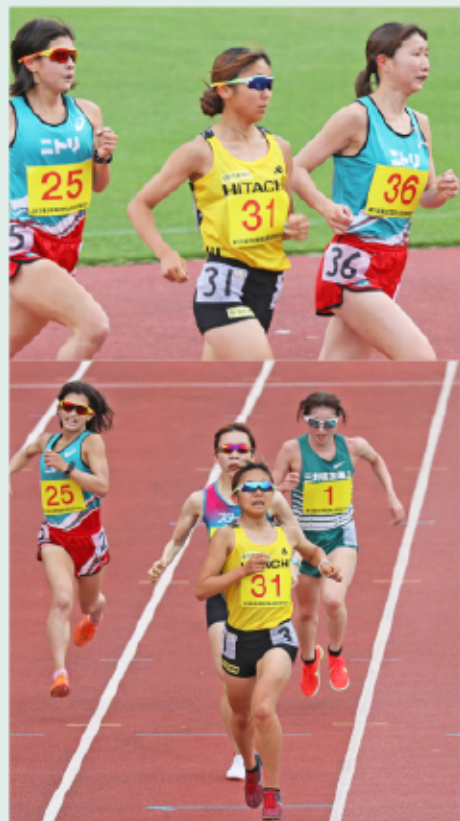
また今後は 5000m にも挑戦していくのでスタミナの部分も強化していきます。

3 日間遠くから現地に駆けつけてくださった方々やライブ配信でたくさんの応援をしてくださりありがとうございました。



矢内 楓恋選手

女子 5000m 1組 7着 / 総合**31位**
16分31秒38 自己新記録!



今シーズン初の5000mで不安がある中で
 のレースでしたが、しっかりと集団の流
 れに乗ってレースを進めることができました。
 2000m以降に先頭集団から離れてしま
 いましたが第2集団の中でレースを進め
 、自己ベストを出すことができました。

このレースで、これまでの課題であ
 った中間の粘りやラスト1000mから
 の切り替えをかなり克服することができ
 ましたが新たな課題も見つかったので、
 更にタイムを更新していけるように引
 き続きトレーニングに励んでいきたい
 と思います。

レース中に応援に来てくださった皆
 さまの声がとっても力になりました。3
 日間、たくさんのご声援ありがとうございました。



鈴木 樺蓮選手

女子 5000m 1組 21着 / 総合**47位**
17分20秒47

レース当日はたくさんの応援をありが
 とうございました。

現地まで応援に来てくださった方々
 に元気な走りをお見せすることができ
 ず、本当に申し訳なく思っています。

キャプテンらしい走りをしなければ
 という思いがここ最近特に空回りして
 しまっています。今は我慢の時ですが、
 楽しいレースができたことと笑顔で言
 えるように、やるべきことをしっかりと
 やっていきます。

現地やライブでのたくさんの応援を
 ありがとうございます。

チームとしてもっとレベルアップし
 ていけるよう引き続き練習に取り組ん
 でまいります!

川澄 克弥選手

5/25 @ 出場

男子 5000m 1組 **1着 / 25名**
14分37秒40



応援ありがとうございました!

